

1 活動名 たいりつとけんか

2 活動について

学級では、毎日のようにサークル対話を行うことで、思ったことを語り合い、聴き合うことを中心に据え日々を過ごしてきた。発表者は自分の興味関心や生活の気づきを気兼ねすることなく話すことができ、聴き手が思ったことを自由に質問し合える。またお互いが安心して自分を出し合えるような空間で聴き合うことによって、自分が気づいていないことでも、他者が質問することになり、新たな気づきにつながっていく。このように子どもたち同士で学んでいけるような環境を、子どもたち自身の手で作っていけるように、たっぷり時間をとってきた。

また、お互いが学び合える安心安全な空間作りとともに、ピースフルスクールプログラムを参考にした学習をすすめる。自分の意見をもつこと、それが周りの意見と異なってもよいこと、いやな時はいやだということは悪いことではないということを楽しみながら学習してきた。この学習を通して、「友達でも意見が異なることがある」という多様性の尊重を無自覚ながらも子どもたちの身体の中にしみこんでいっているように思える。

今後、3年生以上のでつがくの時間では、粘り強く対話を重ね、概念探求していくことが多くなっていく。互いの価値観や考えがぶつかり合い、対立するという状況が起きた際に、自分の意見にこだわってしまうこと、他者の目を気にして自分の意見を出さないこと、単に同調してしまうことは、深く概念探求する時のマイナス要因となってくるだろう。

今まで子どもたちが築きあげてきた安心安全な対話空間の中で、お互いの考えを聴き合ってきたことをベースに本活動では、対立した時にどのようにして自分たちで解消するかを考え、行動できる姿を目指したい。本時までには、対立は悪いことではないということやできるだけ多くの方が満足する解決方法は何かということや一年生の子どものたちなりの発想で出し合い、向き合ってきた。本時は、いつも親しんできた人形劇と自分たちの経験を通して「どうして対立したか」という原因を子どもたちと一緒に考えたい。ただし、「どうすれば対立が解決するか」ということに終始せず、対立する裏にひそむそれぞれの思いを探るなど、対立の原因について、子どもたちが自由に語ることをできるようにしたい。

3 学習活動計画(7時間目/全8時間)

①たいりつとけんか(2)	対立と喧嘩について知り、対立は悪いことではないことを知る。
②たいりつをかいけつしてみよう(2)	三色の帽子を使って、対立したときにどうすればよいかを考える。
③ウィン・ウィンのかいけつ(2)	できるだけ多くの方が満足できるように対立を解決する方法を学ぶ。
④どうしてたいりつしたのかな(2)	対立の原因を考え、解決の方法を考える。

4 本時の活動について

(1) 本時のねらい

対立した原因を考えることができる。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 始まりのアクティビティを行う。	○アクティビティを通して楽しむ身体をつくる。 アクティビティ：こんな子探し
2 これから学んでいくことを知る。	○対立の原因を考えることを伝える。
3 人形劇をみて、対立状況を理解し、どうして対立したかの原因を考える。	○今までの学習経験とつなげて考えるように、支援する。

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

対立状況を理解することは、どのような資質を育むことにつながるか。